

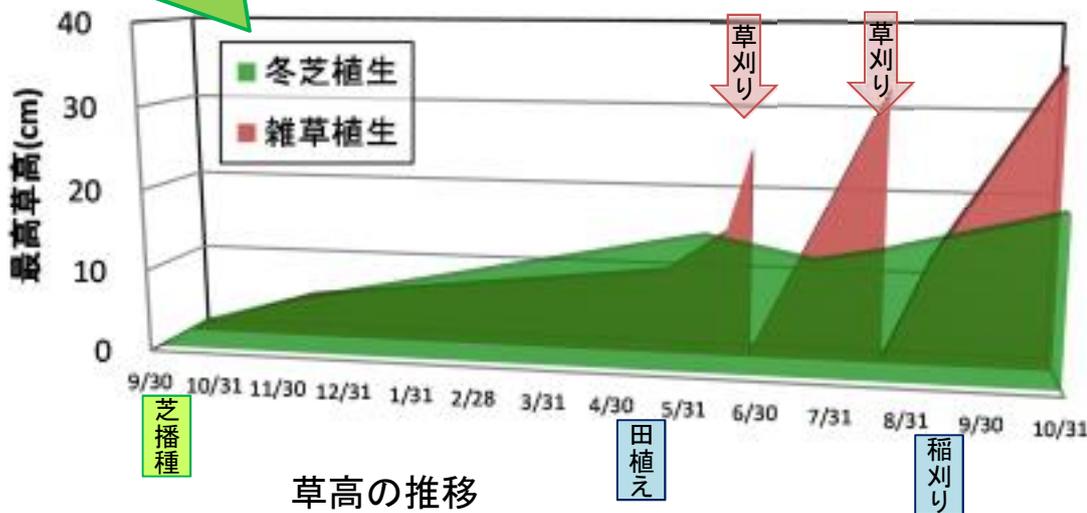
# 冬芝と抑草剤を用いた 畦畔法面の省力管理技術



速やかに生育する“冬芝”と、芝への影響の小さい“抑草剤”を使うことで、草刈りがほとんど不要な植生に転換及び維持することができます。

冬芝ハードフェスクは、  
・稲刈り後に播種できます。  
・翌年夏までに地表を覆い、雑草の発生を抑制します。

冬芝ハードフェスクは、  
・秋から春に生育するイネ科の多年草です。  
・草高は25cm以下です。



草高の推移

※被度5%以上を占める草種のうち最も高い草種の草高



1. 既存雑草の除草(10月上旬)

グリホサート系除草剤(1000mL/10a)を散布し、既存雑草を除草します。



2. 残渣の撤去(10月中下旬)

散布2~3週間後、残渣を撤去します。苔が多い場合、地面が半分以上見える程度に苔を除去します。



3. 芝の播種(10月中下旬)

手播きで十分均一に播けます。覆土や灌水、施肥は不要です。



4. 抑草剤による管理(翌4~6月)

雑草が多発した場合、抑草剤(グラスショット液剤500mL/10a)を散布します。(雑草伸長始期の4月頃及び6月頃)



芝の全面被覆(7月)

芝で覆われた後は、芝出穂時(5月)の刈払い(高刈り)と抑草剤の適宜処理により、植生が維持されます。

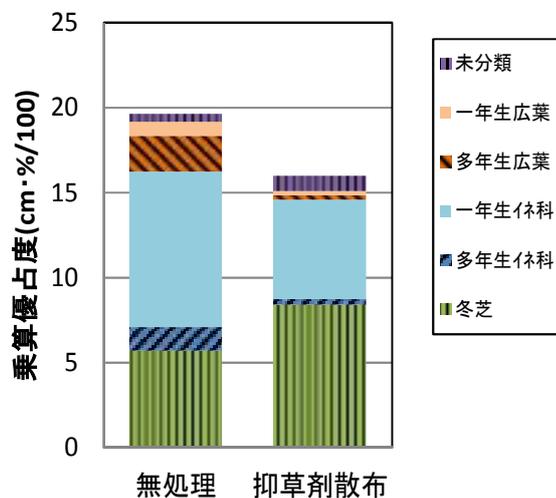


芝(ハードフェスク)の種子

播種量は100㎡当たり1.5kg(約3500円)が目安です。

## 【留意点】

- 本成果は、畦畔法面3地点(標高45~450m)において、少なくとも2~4年間、芝植生が維持されることを確認したものです。
- 本成果で使う芝は、夏季の高温下での刈込みや踏付けで枯死するおそれがあるため、夏場(7~9月)の地際刈り、及び頻繁に歩く部分での利用は避けてください。
- 抑草剤(グラスショット液剤)の適用時期は、雑草生育初期(雑草丈10~20cm)です。
- 芝の葉がやや滑りやすいため、大きな法面には予め足場を造成し、歩行の安全を確保してください。



抑草剤による雑草抑制効果(7月処理3ヶ月後)  
 ※乗算優占度とは、植物の被度と草高を反映した繁茂量を表す指標です。

抑草剤で雑草を半減できます。  
 (特に広葉雑草に効果的です)

(問合せ先) 鳥取県農業試験場 電話0857-53-0721  
 本書から転載・複製する場合は、必ず鳥取県農業試験場の許可を受けてください。